

H26年度 代表者部会 報告

1. 日 時 : 平成26年10月5日(日) 14:00~16:00
2. 場 所 : 堺市総合福祉会館 5階 大研修室
3. 参加団 : 22団体 38名 (内訳別紙)
4. 議 題 : (1)「ジョイント・コンサート」を終えての今後の展望
(2)「コーラス交歓会」への新企画・アイデア提案
(3)合唱祭・コーラス交歓会の招待葉書の運用について
5. 議事進行 : 6グループに分かれてグループ内で自由に意見交換を行い、各グループ毎に結果を
発表していただく、という方法で進行。
6. 打合せ結果～主な意見 (各グループの発表詳細については別紙参照)

6-1. 「ジョイント・コンサート」を終えての今後の展望

(1)ジョイントコンサートへの出演に関して

出演に躊躇している団の理由としては、1回目が大きな団ばかりで、自分たちのような小さな団には敷居が高いんじゃないか、という不安、あるいは定期演奏会をやっているような団では+αでの負担が重い、という意見もあり。

一方出演した団からは、合同でやることで、親睦はもちろん、色々吸収できることがたくさんあって、団にとってプラスになるということ、自分の団だけでは演奏会のできないところが、本番のステージを小さな負担で実現できる、ということで是非参加を進めたい、との意見が出された。

(2)チケットの分担に関して

出演団にとっては、単独で演奏会をやるよりも負担が小さく、出演しない団はチケットで協力できる、ということで、1回目の運用で大体良い、という意見が多かった。ただ、負担枚数の多い団では前売り割引などがあっても良い、との意見もあり。

また、連盟全体でチケットを分担したことで、出演団だけでは本来集客できなかったお客さんもたくさん来ていただけた可能性が大で、その分交流が深まったのではないかと、この意見があった。

(3)ジョイントコンサートの今後の希望・課題など

小さな団が参加できるような工夫を考えてほしい。例えば、ステージのうちの一つは小さな団の合同でのステージにするとか、小人数に見合ったホールでの企画を行うなど。ただ、合同でステージをもつとなると、練習時間や場所をどのように決めるかが、課題となってくる。

いまひとつは、1回目は女声・男声・混声とバリエーション豊かな組み合わせとなったが、連盟加盟団体のウエイトを考えると、最後は女声合唱ばかりになってしまい、魅力が半減しないか、という懸念がある。

また、頻度をもっと増やして、順繰りにどんどん出演団をまわしていけば、という意見もあり。

6-2. 「コーラス交歓会」への新企画・アイデア提案

(1)ファッションショーに関して

大変好評だったのでもう一度やっても良い。また、衣装は自分の団で工夫して作っているところも多いので、自分達でアピールするような形のファッションショーをやってみてもおもしろいのでは、という意見が複数あり。

(2)表彰を設けたことに関して

大変盛り上がり、良い企画。コーラス交歓会でしか見られないパフォーマンスがあったり、各団にいろいろな工夫がみられるので、これからも続けていくと良い。

(3) ゲスト演奏に関して

ハンドベルはすごく良かった、と複数のグループから評価。もう一度呼んでいただいてもいい。また、普段聴くことの少ない、弦楽アンサンブルの演奏を聴きたい、という意見も複数グループから出された。その他、個別の意見として、「指導の先生方のソロやデュオを聴きたい」「著名な団の合唱を聴きたい」などが出された。

(4) その他のアイデアなど

「組曲やミュージカルなどの曲を団で分担して演奏する」「すこしレベルの高い合唱曲を全員合唱で最後に歌う」「男声と女声の団のコラボなど、1団体の出演にこだわらず、合同でのステージを取り込んでいく」「踊りや体操など、体を動かす、見て楽しむようなものがあったもよい」「会場へのアンケート調査を行って、どんな演奏や出し物を聴きたい・見たいか、希望を集めてみる」などなど・・・

【番外編（ジョイントコンサート・交歓会を含めた共通事項）】

- (1) 会場のマナーがよくない。耳につく子供の声が続いても聞こえるのが気になる。また、演奏中の雑談、あのうしろから2番目の人はああで、こうで、・・・などと延々としゃべっている人がいる。いずれもマナーの改善は、みんなで一体となって啓蒙し、実践していかないといけない。
- (2) 若い人達の出演者が少ない。高校生、大学生の演奏がほとんど見受けられない。割引制度を作っても参加を呼び掛けていってはどうか。

6-3. 合唱祭・コーラス交歓会の招待葉書の運用について

団からはチラシがあれば十分に案内できるので、招待葉書は不要 という意見が大半を占める。

「招待葉書を希望する団には渡せばよい」「どうするかは連盟にお任せする」などの意見もあったが、招待葉書がないと困りますというグループは無かった。また、「連盟から案内している市外の団体についても、ご来場いただいているなら意味があるが、そうでなければ不要では」との意見もあった。

7. 総括

ジョイント・コンサート、コーラス交歓会については、貴重なご意見を多数いただいたので、今後の計画を進める上で大いに参考にしながら、具体的な内容を理事会を中心に詰めていきます。招待葉書については、各団への配布は取りやめの方向で検討します。

以 上

発表内容詳細

【Aグループ】

ジョイントコンサートですが、ちょっと無理かなあという団のご意見は、楽しく歌いましょうという趣旨でいつも歌っている団なので、ちょっと本格的すぎて無理かなあ、というご意見がありました。それと、大きな団では、毎年演奏会を行っているので、さらにジョイントコンサートへの負担はしんどい、というご意見もいただきました。そのほかのご意見としては、よその団といっしょに、たくさんの団の方といっしょに一つの歌を歌えたら、いい経験になっていいんじゃないかなと、指導者や練習時間、場所とかいろいろな問題はあるが、そういう経験も出来たらしてみたいな、というご意見、それと、大きな団の方が演奏会された、そういう一つのステージを、もう一度このジョイントコンサートで聴かせてもらったらいいんじゃないかな、という、そういうご意見がありました。で、出られない団は皆さんチケットで応援する、という形で協力したい、ということです。

次にコーラス交歓会ですけれども、あの、ファッションショーとか、ハンドベルとか、今まで楽しかったんですけれども、できたら弦楽器のアンサンブルの演奏とか、最後にちょっと聴かせてもらえたら嬉しいな、というご意見です。それと、組曲とかミュージカルの曲とか、いろんな団で分担して演奏できたら、聴いているのは楽しいんじゃないかな、というご意見もありました。で、コーラス交歓会で人数の多い団の演奏も聴きたいということです。演奏会でされた曲とかステージとかを歌っていただきたい、というご意見です。で、最後に、招待演奏という形で、あそこの団の演奏なら最後まで残って聴きたい、というようなところの団を呼んでいただいて、私たちそういう団を楽しみにしたら最後までお客さんもたくさん残ってくれるんじゃないかな、ということです。あとは、交歓会だけではないんですけれども、聴いている人のマナー、というのもちょっと、各団で今一度確認していただきたいな、と思うんです。あの一、「うしろから3番目の人あの人こんなので、こんなので」、云って、団が出てくる毎に、あの人こんなので、てしゃべっているの、やっぱり自分ところの団から、皆しゃべりたいところは、合間にしゃべるとか、出入りとか、演奏中立たないとか、基本的なところですけども、やっぱり、聴かせてもらう、というところで、そういうのはちょっと気をつけたらいいんじゃないかな、と思います。あと、トイレ休憩とか、休憩の間に体操、ちょっと体を動かすとか、そういうのも入れてもらえたらどうかな、ということです。

最後に招待状の件ですけれども、あの、あつたら使わせてもらうけれども、別にそれが無くてもチラシで案内できるので、無くてもいいんじゃないかな、と、そういうことです。以上です。

【Bグループ】

1番の第1回ジョイントコンサートに関してですが、人数の多い団体で特色がよくでていて、観客も多く、会場の雰囲気良く、コーラスを通じて交流ができた、という良い点がありました。で、あの、まあ、第1回は人数が多い所だったんですけど、少人数の合唱団でも構成を考えて、ホールの大きさも考えて、皆さんにたくさん出ていただければ、ということです。それと、出演しない団体のチケットの負担、ということなんですけれども、あの、もう少し軽くしてもらおうか、という意見もある、ということですが、あの、各団体の事情にもよりますが、今の状態でもいいんじゃないか、ということです。

それからコーラス交歓会なんですけど、先ほどもAグループでも出ていますが、弦楽器の小編成での演奏とか、皆さんで歌う時間をとっていただいたら楽しいんじゃないか、ということです。それと、合唱

祭と交歓会の色合いについて変える、変わったほうが良いということで、最近いろいろな企画がされていて、賞をつけていただいたりとかしているようなんですが、その賞、を下さるということは、その、理事会として、合唱連盟全体として盛り上げていけば嬉しいということだけでいただけるそうなんですけれども、賞をもらえることはいくつになっても嬉しいものなんですけれども、団員一人一人が、連盟のお気持ちにお応えしなければいけない、という意見もでました。それと、交歓会は曲がバラエティに富んでいて、まあ、賞を狙っているということもあるかもしれませんが、各団が色々工夫を凝らしているので、とても良い方向に向かっているのではないかと、という意見です。

それと3の招待状については、連盟にお任せします、ということでまとまりました。

【Cグループ】

第2回のジョイントコンサートですが、2年後の2016年秋ごろと聞いてます。秋ごろというのはほかにないんじゃないかな、という話をみんなですしています。冬は2月に交歓会があり、夏は合唱祭があるので、そうすると、秋が妥当かなと。それからチケットの話がでていましたが、基本的には初回のやり方、出演団体の方が一人数枚、非出演団体の方が団の人数の割合に応じてチケットが配られる、ということについては、これはいいです。実際のところのちょっと話をしていたところは、この前のジョイントコンサートでは、いろいろ事情が、天候の事情とかもあったかもしれませんが、大体800席のところ500人は入っておられた、ということで、それから500人入っておられた方の内訳はちょっとわかんないところもありますけども、出演団体の方が買われたチケットで入っておられた方ではなくて、非出演団体の方が買われたチケットで入っておられたお客さんではないかと、思ったときに、そうすると、そこを、やっぱりひとつあの、強制請求という言い方はよくないですけども、やめてしまうと、もしかしたらこれ、来られない方が出てきたりして、そうすると、この、企画自体が崩れてしまうかもしれないかと、いうのがあったので、もう少しうまくこう、企画が継続するためにも、しばらくはこのやり方は必要なんではないかと。まあ、赤字になってしまうとなかなか難しいところはあるので、で、ただまあ、あの、実際のところはすごくお得なコンサートだという話も出てまして、一人3000円ですかね、たとえば今回出られた方でいいますと、それでも20分間の演奏をもてる、ということ、これははすごくいいことだと思うんです。だからあの、できればこれがもう少し、数が多くなれば大変だと思うんですけども、ほかの非出演団体の方も、いわゆる、例えば今でしたら2年に1回で40団体くらいかかえた合唱連盟の団体があつて、4団体となると、それが1回やると20年に1回しか回ってこない、ということになってきますので、それを例えば1年に2回やりますとかですね、ということになれば、5年に1回になりますので、そうすると、今払っているチケット代というものがあまり強制性というのではなくて、ここ堺市合唱連盟全体で、みんなでそういう形でコンサートをやっていくんだと、そして今回はあの4団体、次はうちの4団体、という感じでやれば、あんまりその、お金についてそういう強制性を考える、とかいうことではなくって、みんなで、そういう形で運営していく演奏会になるので。ただまあ、2回になってしまうとちょっと大変なので、その、交歓会を例えばジョイントコンサートに変えてしまおうとか、いろんな意見があるかもしれませんが、そういう形で運用できればいいんじゃないかなあ、という意見も出ています。それから企画についてはですね、4団体が独立団体ではなくて、1団体例えば合同とか、いう団体があつてもいいかと。ただこれから2年先なので、準備をしていけばそういうことも可能ではないかなあ。女声団体の合同、女声と男声の合同、そういうステー

ジが1団体あってもいいと、いう話が出ました。

それから交歓会の話なんですけれども、ファッションショーの話だとかありまして、すごく盛況だったと。ユニチカさんとタイアップでこの前はあったと思うんですけれども、例えば、メーカータイアップではなくて、今度は自分たちが色んな衣装を、女声の方着られていると思うので、うちの衣装こういうところ工夫してるね、とかアピールするようなショーがあってもいいんじゃないかと、各団出たいただいて、自作じゃないんですけれど、紹介してもらおう、というので第2回目のファッションショーがあってもいいんじゃないですか、という意見がありました。それから、合同演奏とかありますけれど、理事の方がリゾーズという形でいろいろされてたことがあったと思うんですが、例えば、先生にはご負担にはなるかもしれないんですけれども、例えば先生の独唱とか、デュオとか、そういうステージがあってもいいんじゃないかと。ご負担になるかもしれませんが、やっぱり、普段から先生に指導を受けているわれわれからすると、そういうのが聴けると、すごく楽しいし、盛り上がるんじゃないかな、という意見も出ていました。

最後に、招待状の話なんですけれども、まあ、希望団体がいいんじゃないですか、と。最初に発送するんじゃないですかね、うち、ほしい、というところがあれば、そこには提供する、と、いうところでもいいかな、という話になりました。

あと番外で、長くなりましたけれど、交歓会、合唱祭いろいろありますけれども、学生団体の出場、というのがすごく少ないかなと。堺市、大きい市であるのにもかかわらず、まあ大学も大阪府下エヴァ・コールとかあるんですけど、そういうところの若者ができるだけもっと出場してくれる、あの携帯じゃないですけど学生割引じゃないんですけど、もうあの、会費はいりません、と、出場だけでいいですわと、いう形で、団体登録しなくても学生だったら出られますよ、というような形でまあ、窓口を開けてできるだけ参加してもらえるよう高校生・中学生へも呼びかける。そうすると、老若男女ですね、幅広い演奏会ということで、そうするとそれだけでもずいぶん気持ちが若返って楽しくなるかな、と思います。以上です。

【Dグループ】

ジョイントコンサートについては、チケット負担については出演者の負担は現在のままでよい、それと、出ないところも応援という形ということで協力したい、ということでこのまま続けてください。それと、ジョイントコンサートは、第1回目がいちおう男声・混声・女声コーラス2つ、ということで、別にそれが決まった形じゃないと思うんですけども、そのままいくと、男声コーラス、混声というのは数が少ないですので、どうしても最後、女声コーラスばかりが残ってしまって、女声コーラスばかりで組んでしまうと、普通の合唱祭とか何かそんなと変わらないんじゃないか、とかいうので、またやっぱりそういうのは、あの、普通のジョイントとまた合唱祭・交歓会とかのまた違う形というのを模索していかないとダメかなあ、というのと、それとまた、それだったら合同で歌うのもいいんじゃないか、ということなんですけど、合同をしますと、練習場所とか、時間とか、そういうのがまた悩みのタネになりますので、そういうところは、連盟で配慮をお願いいたします。それと、一つの意見で、出演するのに、ジョイントコンサートでは敷居が高いのではないかと、いうのもありました。

それと、コーラス交歓会についてなんですけれども、あの、今まで出た意見、うちでも出たんですけれども、まあ、歌うテーマを決めるとか、花とか、四季、あの春・夏・秋・冬とかね、そういうのもした

んですけども、あの招待葉書にも関係するんですけども、招待葉書はもういらない、ということで、その分を、アンケートでね、あの合唱祭でも交歓会でもアンケートをとっていないですよ、まあ、あのお金かかるとも思うんですけど鉛筆代とか、なんか 100 円ショップで売ってるとかいうのもありまして、その、アンケートでね、あのお、お客さんがどういうのを希望してるかとか、どういう歌を聴きたいとか、そういうのを記入してもらって、それと住所と、それと次の時の招待状がいるか、葉書で、なんかそういうのをしていって、お客さんをひとつずつ開拓していく、そういう努力も必要じゃないかとかいう意見がありました。 以上です。

【Eグループ】

ジョイントコンサートの、人数×4割の大体 20 人で 8 枚 8000 円というのは妥当じゃないか、出さしていただいて良かった、という意見と、人数が多い団は、かなり負担になるので、前売り形式でちょっと割引の 800 円ぐらいにしていただけたら、というのも出ましたので、ご考慮ください。あの、多い団も、負担をするのは、別に、あの、聴きに行けたし、楽しかったので、これはそのいいことなで、ちょっと 200 円ぐらい安いと嬉しいかな、ということです。それと、ジョイントコンサートは、先ほどの団もいわれたんですけど、ちょっと私らレベルが違うかなあ、という団もあるんですけども、出られた団、うちのグループは PHENIX さんがいるんですけども、もう、良かったよ～、って、もう勉強なるから出たらいいよー、ていう意見も出まして、じゃあこれからそういう方向で団に持って帰って話します、とか、楽しい意見がいっぱい出ました。それと、やはりあの定期演奏会のできないような小さい団は、こういうふうに合同でさしてもらうのは、費用の面でも、会場の面でも、とってもありがたいので、できたら、参加したい、というのが全員の意見でした。

それからコーラス交歓会は、先ほど A グループから出たんですけど、弦楽四重奏、やっぱり聴きたい、それをひとつ出していただけたらな、というのがありました。バイオリン、ビオラ、チェロ、それぐらいのところで、本格的なんを交歓会で出していただけませんか、ということです。それと、あの、ハンドベルは本当に聴いていて心が洗われて、もう涙がでるくらいきれいな曲で、あれも良かったからまた続けてください。それからファッションショーの話になりましたんですけど、まあ、ユニチカさんも、あの、すごい成功で、たくさん後で売れましたそうで…。それでお金がなくなって買えない団もあります。100 均でスパンコールを買ってきて、いっぱいお洋服につけて、それでキラキラ着飾ってもいいなと思いました。それで、ま、案としまして、賞を作ってもらうのに、自前でがんばったで賞、というの。その、先ほども自分らで作ったのだけで、ファッションショーはどうですか、ていう意見も出たので、あの、自前でがんばったで賞、なんて作っていただくといいんじゃないか、というのが交歓会での意見です。

それと招待葉書は、E グループとしましては、チラシがすごく有効で、あの、費用がかかるんであれば、E グループ全体は、必要ないんじゃないか、ということです。以上です。

【Fグループ】

ジョイントコンサートの印象ですけども、やはり親睦になりますし、出た団の方は、合同で学ぶこともすごく多かったということ、それと連盟の資金づくりにもなるので、ぜひ続けていってほしい、という意見です。で、それから、第 1 回目は、理事さんが指導された団体ということなんですけども、や

やはりこれからは、少人数で舞台に出る機会が少ない団体に、大いに出ていただきたい、という意見です。あの、合唱祭や交歓会では持ち時間が決まっているので、その分内で、というまとめた演奏になってしまいますけども、やっぱり1団体の持ち時間がジョイントでは長いので、その団体の演奏をじっくり聴くことができる、ということで、すごく良かったという意見がありました。あとですね、聴く人のマナーなんですけども、子供たちの声がとてもうるさかったので気になる、ということが出てまして、で、チケットをいろいろ売っていくときに、ほとんどこういう演奏会に来たことがない人も多々いるんじゃないかということで、その対策としては、会場でアナウンスで携帯OFFにしてほしい、というときに、マナーのこともチラッと行って、先にいっておくというのも手ではないか、という、そういう意見がありました。

それから次に、コーラス交歓会なんですけども、あの、合同合唱の曲が、かなり、やさしい曲でやっていますけども、もうちょっと、難しい曲で、それぞれの団で練習してもらって、1回くらいリハの機会をもって、もうちょっとレベルの高い曲を試してみるのもいいんじゃないかと、いう感じで、そこで会場と舞台が一体となった素晴らしい演奏ができれば、聴きにいられている人に対して、こんな素晴らしい演奏が全員でできるんだ、ということを感じていただいて、団体に入ってくださいきっかけにもなるんじゃないか、という意見もでました。それから、前々回はファッションショーで次は、ハンドベル、とっても素敵だったんですけども、これからの企画ということで、普段耳にできないような楽器の演奏をしてほしい。で、やはりあの、合唱祭と違って、聴くだけではなくて、見て楽しむ、という、例えば、堺すずめ踊りというのもありますけれど、そういった方も来てもらえたらいいかな、と、そういう意見もでました。それから、1団体ずつ出るだけじゃなくって、例えば、男声合唱の団と女声合唱の団のコラボ、という、そういう舞台も作って、機会も作っていただけないか、という意見も出ました。

それから最後に招待状の件なんですけども、やはり団に対しては、もうチラシで案内ができていますので、特に必要ないのではないかと、ということです。それから、市外団体の招待状については、今まで招待状を出して、来ていただいていたのかどうか、それはどうなのですか、という質問が出まして、で、いままで来ていただいていたのなら意味があるけども、全然ないのなら、それも特に必要ないのではないかと、という意見もありました。以上です。